

CASBEE® 広島

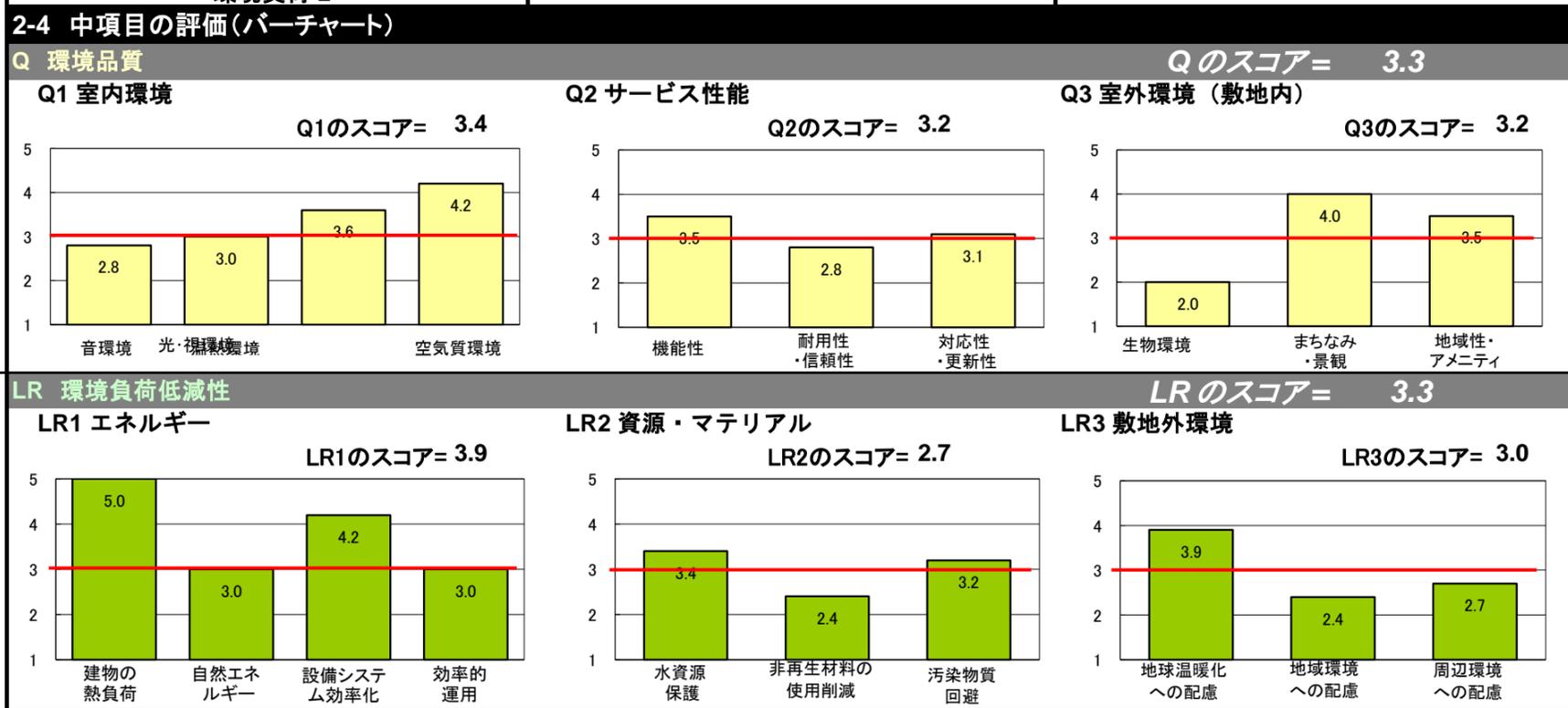
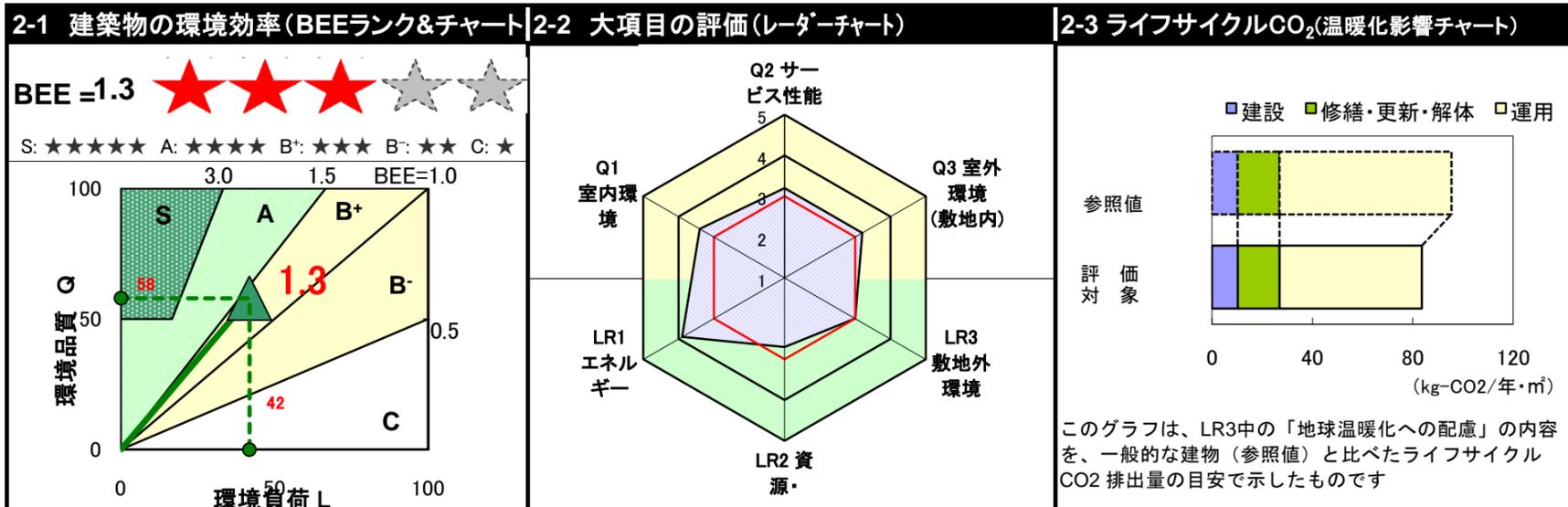
(2010年ver.1)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	比治山学園新教育棟	階数	地上5階
建設地	広島市東区牛田新町四丁目	構造	S造
用途地域	第1・2種中高層住居専用地域	平均居住人員	331人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	1,200時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年1月 予定	評価の実施日	2013年3月28日
敷地面積	69,897 m ²	作成者	北川美保
建築面積	890 m ²	確認日	
延床面積	3,827 m ²	確認者	



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.3

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.5	スコア = 2.5	スコア = 3.0
設計の計画上特段に配慮した事項 建物方位、形状について熱負荷抑制を目指し、必要部位に断熱材採用 / ロスナイの採用 / 適切なゾーン管理システム / 冷暖フリーシステムの採用 / 節水機器の採用 / リサイクル可能な材料の使用	設計の計画上特段に配慮した事項 可能な限りの緑化 / 動線分離	設計の計画上特段に配慮した事項 外壁の一部をタイル貼りとし、耐久性の向上化を図る / ゆとりのある天井裏空間の確保

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される